競技注意事項

1 競技規則

本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。
なお，本大会は広告規程を適用し，また選手権種目はWRk競技会とし，WA競技規則を適用する。
（リレー競技，投擲競技，混成競技ならびにジュニア種目はWRk種目対象外とする）

2 練習について

(1) 練習については，役員（練習会場係）の指示に従い，原則補助競技場およびバックスタンド下雨天練習場を使用すること。なお練習会場には，選手・指導者以外の入場は認めない。
(2) 本競技場での練習については，競技開始30分前まで認める。
(3) 本競技場・補助競技場ともに逆走は禁止する。
(4) 投擲の練習については，指導者が付き添いのもと許可する。
(5) トラックにミニハードル等，私物の道具を置くことは禁止する。
(6) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合，練習後には必ず回収すること。
(7) 棒高跳については，競技時間を除きメイン競技場競技場所での練習を認める。
（競技者・指導者以外の入場は認めない）

3 招集について

(1) 招集は，本競技場第3コーナー裏に設けた招集所で行う。
なお，棒高跳については，競技場所現地にて行う。
(2) 招集時間は，開始・完了ともに，競技順序に記載された時刻で行う。
(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は，当該種目を棄権したものとして出場を認めない。
(4) 招集の方法については，以下の通りとする。
①招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際，アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・靴底の厚さ・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
②トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取る。（リレー競技は第4走者のみ）
受け取った腰ナンバーカードは，競技終了後に返却すること
③携帯電話，ミュージックプレイヤー，および外部との通信機能のある腕時計等，TR6.3.2 に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
④代理での点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は，招集開始時刻前までに競技者係へ申告すること。トラック競技が先に行われる場合は，トラック競技終了後フィールド競技場所へ移動すること。フィールド競技が先に行われる場合は，フィールド審判員に申告し，指示に従い，トラック競技へ出場すること。
⑤各種目を棄権する場合は，招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。
⑥混成競技の実施日最初の種目については，招集所にて競技順序に示した招集時間で招集を行う。招集完了時刻に遅れた場合は，棄権とみなす。次種目以降については，混成競技役員の指示に従い競技場所に集合すること。競技開始時刻に遅れた場合は，棄権とみなす。
(5) TR4.4(参加の拒否)は適用しない。欠場については，エントリーした各種目について申告すること。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは，2026年度鹿児島陸協登録時に配布されたものを使用すること。
(2) 跳躍種目に出場する選手は，胸部・背部どちらか一方だけ取り付ければよい。
(3) アスリートビブスを取り付ける安全ピンについては，各自で用意すること。

5 競技場の入退場について

(1) 招集所から競技場への入場は，競技者係の指示に従い，決められたルートで移動すること。
(2) 競技終了後は，役員の指示に従い，場外へ退場する。（本部席前は通行禁止）
(3) 競技者以外（付き添い等）は，招集所以降，競技場所へは立ち入る事ができない。

6 番組編成について

(1) トラック競技については，プログラム記載の組・レーン順，フィールド競技の試技順については，プログラム記載の番号順とする。
(2) 予選を行った後の決勝種目については，予選の結果をもとに，競技規則に基づき番組編成を行いレーンを決定する。
男子ジュニアA/B100m については，予選記録上位8人を決勝進出者，上位9位以下16位までをB決勝進出者とし，上位8人の決勝の結果から入賞者を決定する。
(3) トラック競技において，次ラウンドへの進出者が1/100 秒単位で同記録があった場合，1/1000 秒単位で判定を行い，進出者を決定する。タイム差がない場合は抽選を行う。
(4) 抽選が必要な場合は，アナウンスにより競技場内に連絡し，競技者本人もしくは，代理人にて抽選を行う。アナウンス後20分を経過しても該当者が現れない場合は，権利を放棄したものとみなす。また，該当者が一人も現れない場合は，主催者が代行して抽選を行う。

7 競技について

(1) トラック競技について

①トラック競技の計時は，すべて写真判定装置で行う。

②レーンで行う競技は，欠場者のレーンを空ける。また安全対策のため，フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を通過する。

③不正スタートを行った競技者は失格とする。

④スタート時，他の競技者の不正スタートを生じさせた場合や，スタート時の動作等に遅延行為が見られる場合などはイエローカードを提示され警告となる。警告が2回累積されると，退場となり以降の競技に出場ができなくなる。

⑤100m，200m，100mH/100mYH については，風向等グラウンドコンディションの状況により，バックストレートで競技を行う場合がある。その際もプログラム記載のレーンでレースを行う。

(2) フィールド競技について

①フィールド競技の測定については，一部光波測定器を使用する。

②跳躍競技(走高跳以外)の競技者は，助走路の外側に主催者が準備したマーカーを2個まで設置することができる。また投擲競技は，同じくマーカーを1個だけ使用できる。走高跳に出場する競技者は，各自でマーカー（粘着テープ，2か所以内）を助走路内に使用することができる。使用したマーカーは競技終了後，役員の指示があった後，各自で片付けること。

③棒高跳の選手は，競技開始前に，自分の希望する支柱の移動位置を跳躍審判員に申告すること。その後位置を変更したい場合は，試技開始前までに，跳躍審判員に申告すること。試技時間のカウントが開始されたら，支柱の位置をそれ以上変更することはできない。

④三段跳の踏切板は，砂場から男子12m，女子10mの位置に設置する。

⑤競技前に行う公式練習は競技役員の指示によって行う。

（競技の進行状況によっては，変更する場合がある）

⑤走高跳・棒高跳以外のフィールド競技については。全競技者に3回の試技が許可され，上位8人による後半試技を3回行う。なお，前半3回の試技については，試技時間を30秒とし，後半3回は規定の時間で行う。走高跳については，残り人数が8人以下になるまでは試技時間を30秒とし，人数が8人以下になった時点からは規定の時間で行う。棒高跳および混成競技については規定の試技時間とする。

⑥「コーチングエリア」は設置しない。選手への助言等は競技進行に支障のない場所から行う事。競技者が直接手に取って映像等を確認することは認めるが，機器等の持ち込みや持ち出しは認めず，その場で確認すること。また機器は手渡しのみ認め，投げ渡し等は認めない。また手渡しされた機器により通信機能を使用することはできない。違反が見られた場合は，イエローカードの対象となる。

(3) リレー競技について

①リレーオーダーは，各組の招集完了時刻1時間前までに，招集所に用意してある所定の用紙に記入し，招集所の競技者係に提出する。

②リレーチームの編成メンバーは，どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目にエントリーしている競技者であれば出場することができる。ただし，どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも２人は当該リレー種目にエントリーした競技者でなければならない。予選に出場した競技者は，その後の決勝について，2人以内に限り，他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければチームは失格となる。

③競技者は，大きさが最大50㎜×400㎜の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりした色の粘着テープをマーカーとして1か所，自らのレーンに貼ることができる。それ以外のマーカーは使用できない。競技後は，前走者が自分のレーンに使用したマーカーを剥がすようにすること。

④リレーに出場するチームは同一デザインのユニフォームで出場すること。形状の違うものについては，カラー等デザインが酷似している場合は認めるものとする。

(4) 混成競技について

①混成選手控え場所は設置しない。

②最終種目については，順位を示すアスリートビブス（ナンバーカード）を1枚配布し，それを背部に取り付け競技を行う。

③混成競技のトラック種目については，各レースの最初不正スタートは失格とならず，その後に不正スタートを行った競技者は全て失格となる。(TR39.8.3)

(5) 競技者は，携帯電話，ミュージックプレイヤー，および外部との通信機能のある腕時計等，TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。また，競技場所を勝手に離れることはできない。

(6) 競技規則または，競技注意事項に違反する行為がある場合，また競技者としてあるまじき行為がある場合は，警告（イエローカード）または除外（レッドカード）を通告されることがある。警告が2回累積されると，退場となり以降の競技に出場ができなくなる。

8 走高跳・棒高跳について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方，および練習の高さについては，優勝者が決定するまでは以下の通りとする。ただし，天候等の状況により，審判長の判断で変更することがある。

種目	種別	練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m70/1m90	1m75から1m90まで5cmずつ　1m90以降3cmずつ
	女子	1m40/1m60	1m45から1m60まで5cmずつ　1m60以降3cmずつ
	十種男子	1m40/1m55/1m70	1m45から1m70まで5cmずつ　1m70以降3cmずつ
	七種女子	1m30/1m45	1m35から1m50まで5cmずつ　1m50以降3cmずつ
棒高跳	男子	自己申告	3m61から4m01まで20cmずつ　4m01以降10cmずつ
	女子	自己申告	2m21から2m61まで20cmずつ　2m61以降10cmずつ
	十種男子	自己申告	2m40から3m60まで20cmずつ　3m60以降10cmずつ

(2) 公式練習について
示した高さを選択し，2回行う事ができる。棒高跳については，事前に支柱の位置を申告しておくこと。走高跳は正規のバーで行う。棒高跳はゴムバーで行う。

9 競技用具について

(1) 競技に使用する用具については，棒高跳のポール以外，原則主催者が用意したものを使用しなければならない。なお，投擲の持ち込みについては，検査を受けて合格したものは許可する。

(2) 投擲の持ち込みを希望する場合は，競技開始90分前から60分前までに，技術総務に申し出て指示を受け検査を受けること。なお，検査に合格した際は，一括借り上げとし，他の競技者も共有できるものとする。またその際，破損等があった場合も，主催者側は一切の責任を負わない。返却については，競技役員の指示にて返却を行う。

(3) ハードルの規格については以下の通りとする。

種別	種目	高さ	1台目まで	ハードル間	最終ハードル以降	台数
男子	110mH	106.7cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
男子	400mH	91.4cm	45m	35m	40m	10台
女子	100mH	83.8cm	13m	8.5m	10.5m	10台
女子	400mH	76.2cm	45m	35m	40m	10台
男子ジュニア	110mJH	99.1cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
男子ジュニア	300mH	91.4cm	50m	35m	40m	7台
女子ジュニア	100mYH	76.2cm	13m	8.5m	10.5m	10台
女子ジュニア	300mH	76.2cm	50m	35m	40m	7台

(4) 投擲の規格については以下の通りとする。

種別	砲丸	円盤	ハンマー
男子	7.260kg	2.000kg	7.260kg
女子	4.000kg	1.000kg	4.000kg
男子ジュニア	B 5.000kg	A 1.750kg	A 6.000kg

10 競技用靴について

(1) スパイクピンの長さは，9mm以内とする。ただし，走高跳は12mm以内とする。

(2) 競技用靴の厚さについては，WAシューズ規程を適用する。(TR5)　ただし，サークルを使用する投擲競技においては，WAシューズは適用されない。

11 抗議について

結果発表アナウンス後，結果に対する抗議は，その競技（ラウンド）の結果の正式発表後 30 分以内に競技者自身，もしくはチームを公式に代表する指導者等から担当総務員を通じて，審判長に口頭でなされなくてはならない。その後の審判長からの裁定に納得ができない場合は，預託金(2万円)を添えて，担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。「抗議申立書」は担当総務員が準備する。

12 表彰について

(1) 各種目3位まに入賞した者に賞状を授与する。選手権優勝者には，選手権賞(楯)を授与する。

(2) 3位以内の入賞者は競技終了後，表彰エリアに集合する。

(3) 男女各1名に最優秀賞(玉川杯)を授与する。

13 その他

(1) 競技場の開門は3日は10:00とする。4日以降は7:30とする。係の指示に従い入場すること。

(2) 大会プログラムは競技場正面入り口内にて販売する。

(3) 記録の証明を希望する場合は，受付に申し出ること。1部200円で発行する。

(4) 競技会の結果については，競技場正面入り口付近に掲示する。なお鹿児島陸協HPでも公開する。

(5) 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規程を適用する。

(6) 更衣室の利用については，更衣のみとし，控え場所としての使用は認めない。また貴重品等の管理については，各自で責任をもって行う事。

(7) 事故発生については，応急処置を当協会医師・医務員が行うが，他の一切の責任は負わない。各自スポーツ安全保険に加入しておくこと。

(8) メインスタンドへのテント設置はできない。バックスタンドは中段より上への設置は許可する。

(9) メインスタンドの座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。

(10) スタンドでの傘の使用については原則として中段より上でのみ認める。

(11) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。

(12) 本大会の選手権種目で6位に入賞した選手，および出場規程の要件を満たした競技者は「九州陸上競技選手権大会」への出場資格がある。詳細は宮崎陸協ホームページにて確認すること。
https://www.miyariku.org/maaf/第81回九州陸上競技選手権大会/

(13) 個人プライバシー保護のため，選手関係者以外の撮影を禁止とする。なお望遠レンズを使用しての撮影は一切禁止する。違反が認められた場合は鹿児島陸上競技協会の規程に基づき対処する。

(14) 個人情報の取り扱いについて
①大会プログラムに掲載する。
②記録掲示板，ホームページに掲載する。
③競技場内アナウンスに使用する。
④競技結果等，報道機関，関係各所に提供する。
⑤優勝記録や大会記録等，次年度以降もプログラム等に掲載する。
⑥各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。